



岡村病院  
院内報

# 歩 (あゆみ)

第 12 号

発行 岡村病院  
編集 歩 (あゆみ)  
編集委員会  
平成 7 年 2 月 20 日

## 岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え  
高度な専門医療技術をもって  
地域社会に貢献することを目指します。



雪の梅池高原 — 西野哲夫氏 写 —

今月のことば

## やさしい心

阪神大震災で祖母が死亡し、一人ぼっちになって養護施設に保護された小学六年生の少年が、取材に来た女性記者の質問に答えて、「地震はこわかった」「ここは天国のよう」と話していた。そして記者が「将来どんな人になりたいですか」と問うたら「やさしい人」と答えた。やさしい人達に助けってもらったことが、よほどうれしく心に残ったと思われる。

こんどの災害では、政府の対応の遅れが言われる中で、ボランティアの人達を含め、やさしい心の人達によって、どれだけ救われたか知れない。この善意の、やさしい人達の協力がなかったら、この災害はもっと、もっと悲惨なものになっていたに違いない。

人は一人では生きられないと言う。お互いの助け合いが必要な事を今度の災害は、はっきりと示した。どんなに物が豊かになり、生活が便利になっても、やさしい心の交わりがなかったら、住みよい世の中にはならない。

やさしい心を大切にし、日常生活の中で、積極的に生かしましょう。

# 医療の変化と岡村病院の目指す方向

院長・心臓血管外科医長 岡村 高雄



一般の方々は余りお気付きになっていないかも知れませんが、日本全体の病院が昨年より大きく変化しつつあります。この変化とは急激な老人病院、長期療養型病院の増大であり、一方では一般病院、急性期病院の減少であります。変化の原因の一つは、社会の高齢化現象に伴っていることは、まぎれもない事実ですが、最大の要因は厚生省及び国の医療政策、特に診療報酬政策によるものであります。つまり、老人病院が経営的に良い政策を厚生省が打ち出し、付き添い看護の解消を目的としている事もあいまって、現在多くの病院が老人病院へと変化をしつつあります。一般病院、急性期病院は経営的に時代遅れだと言われる様になって参りました。確かに老人病院が改善され、安定していく事は望ましい事ですし、私も年をとったら、その様な病院に行くかも知れません。しかし、それまでの間、しっかりと支えてくれる、また老人を支える若い人々、元気に働きたいと思っている人々を治してくれる病院も必要と考えられます。

診療報酬つまり病院の収入、厚生省の方針等は病院経営の為に重要な点ではありますが、あくまでも私共の基本は地域の人々、患者さんの

為に良い医療を提供する事が目的であり、診療報酬が老人病院が良く、一般病院が悪い為に病院の方向が決定するものではないと考えております。この様な変化の中では私共の病院のおかれている状況は厳しいものがあり、職員の皆様も努力の割には報いられない事もあるかも知れません。しかしこの状況も平成7年度を過ぎればまた変化をし、職員皆様の努力が評価される時代が来ると信じております。

厳しい時代の変化の中で私共が常に心がける事は地域の人々、患者さん中心の医療を貫く事であります。岡村病院は基準看護、服薬指導、適温適時給食等各種の基準をクリアーしておりますが、最も重要な点は基準をクリアーしているかどうかではなくて、基準をクリアーしている事が患者さんにとって本当に有意義であり、十分に評価していただけるかどうかであります。私共の行っている実際の内容、質を常に考えて、さらに一層努力することが必要と考えられます。

本年もより一層、病院全体として内容の向上を目指し、厳しい環境の中、必死になってチャレンジして行きたいと考えております。何卒、皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

## ○ 病院の耐震性 ○

阪神大震災を目の当たりにして、自然の脅威、人間の傲慢さ、ボランティアの人々の力強さ等、改めて多くの事を学ばせてもらいました。また次に考えた事は、この様な地震が高知に来たら岡村病院は大丈夫かどうかであります。私は早速、今回病院を設計した会社の構造設計者に電話を致しました。彼は私の不安に反して、明るい声で阪神大震災程度では絶対に安全で、建物の被害は全くないでしょうと自信をもって答えてくれました。今回の病院新築に際して私共は

東京の設計会社に設計を依頼しましたが、設計者によると関東に比し関西は日常の地震発生頻度が少ない為に、耐震に関する考慮が不十分であるとの事であります。事実、今回私共の設計会社が設計した20年前の神戸の建築は全く被害がなかったとの事であります。又、非常時には自家発電設備が作動し、非常照明、医療用吸引、圧力ポンプ、手術室、ICUの電気、非常用防災機器の電源等は確保される設計になっておりますので、冷静に職員の指示にしたがっていただければと思っております。

# ●● ドクター 紹介 ●●

たけ うち かず や  
竹 内 一 八 肛門科・消化器科・外科医長

昭和24年5月25日生



## 略 歴

昭和51年	金沢大学医学部 卒業
昭和51年	岡山大学医学部 第1外科
昭和51年～54年	岡山済生会総合病院外科 研修医
昭和54年～58年	済生会今治病院外科医長
昭和58年～61年	岡山大学 第1外科 肝、胆、膵グループ所属
昭和61年～平成5年	愛宕病院外科部長
平成5年	チクバ外科胃腸科肛門科病院 研修医
昭和54年	麻酔科標榜医
平成2年	日本外科学会認定医
平成2年	日本消化器外科学会認定医

## ● 主研究領域

- I. 一般外科
- II. 腹部外科
  - 消化器外科（胃、大腸、直腸、肝臓、胆のう、膵臓）
  - 内視鏡下手術（腹腔鏡下胆のう摘出術）
- III. 肛門外科
- IV. 消化器病診断のための各種検査
  - 胃内視鏡・大腸内視鏡・腹部超音波検査
  - その他の特殊検査

## 胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術

胆石症はお腹の強い痛みや、嘔気等を主症状とする病気で、胆嚢に石ができる事によることはよく御存知と思います。治療方法として以前はお腹を大きく切って胆嚢をとり出す手術が行われておりましたが、最近では医療技術の進歩に伴い、内視鏡（腹腔鏡）を用いて胆嚢を摘出する事が可能となりました。内視鏡による手術はお腹を切るのに比べて①手術後の痛みが非常に少ない。②術後の回復が早く、入院日数が短くてすむ。③傷が小さく目立たない等、美容上の利点も有しております。御質問のある方は御気軽に御相談下さい。

## ※※ 竹内先生の横顔 ※※

～看護婦さんにきく～

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| A. 大きな体で神経は繊細。               | E. 患者さんには最高、患者さんの言うことをとことん聞く。           |
| B. ものを大切にする。                 | F. 信頼できる。私たちも、家族が診てもらおうとしたら竹内先生に診てもらおう。 |
| C. 看護婦にはきびしいが、患者さんにはとてもやさしい。 |   |
| D. 「分かりやすく、きちんと説明してくれる」      |   |

## 誕 生 日

秋山 武子 (3F)

1994年12月24日、思い掛けなく岡村病院へ職場から直行、入院となった。

ほんの一寸した弾みでのアキレス腱断裂症、大腿部から爪先を少し残して真白に巻かれたギブス、途端に歩行の自由を奪われてしまった。

誰もが家族と共に楽しむクリスマス前夜、丁度土曜日の夕方にもかかわらず、ご自宅から治療に駆けつけて下さった谷先生の眼鏡の奥に優しく光っていた眼差しが唯一の支えであった。

きっと治して頂ける!!そう祈りつつ、ベッドの人となった。

二ヶ月以上も治療の必要となった怪我の現実への信じられない思いと、不安、入院の事実をまるで呑み込めないで、うろたえている私を、初対面である同室の方々は優しく労り、励まし、慰めて下さった。

トイレの方向、ナースコールの使い方、お茶のこと、消灯のあれこれ、安静について、痛みはどうか等々……。あゝ人として生きるとは、こんな優しさを持って、他に接することだと新入生の私は先ず教えられた。

やがて大晦日、病室は自宅で正月を迎えるべく、一つ又一つと、ベットが空になって行く。私をお見舞い下さる方々が、口々に開口一番、まあきれいな病室ねえ!ホテルみたい、それに受付から病棟まで皆が優しくてホットな雰囲気、もうびっくりした!!と言う。

この美しい病室で一人迎えたお正月。

ギブスより指先僅か冷えており

城山の左方より初日出

岡村病院は、かつて亡夫が入退院を繰り返して、大勢の皆様にお世話になり、私としてはその看病の為に朝夕通い慣れた思い出の多い所でもある。

以前とすっかり変わった雰囲気、はつらつとした職場の皆様にも縷々お世話になり乍ら、私の入院生活も1ヶ月を過ぎようとしている。

因に1月15日は私の誕生日であったと思い返し乍ら、静かな養生の日々に感謝を捧げます。

着てみだし真赤なコート誕生日

## — 随 想 —

### 私の“元気がでる言葉”

給食部 (管理栄養士) 森光眞佐子

若い頃は、本を読んでいたたりして、気に入った言葉に出逢うと、それを書き写し、空で言えるようになったりした。ロマンチックな言葉やシャレた言い回しものは、今度誰かに言ってやろうと内心、ウズウズしていた。

しかし、若い頃から、大分長く歳月が流れ去った今日この頃、ただ生きる、その事だけのための即効薬的フレーズが必要になって来ている。

何をやってもうまくいかないように思える時、行き詰まった時、自分自身に言い聞かせる言葉、自分自身を景気づける言葉が、必要になって来た。

最近の、そんな私の“元気がでる言葉”を2つ程紹介します。

一つは「朝ごと生まれよ、私」

昨日どんないやな事があっても、今日生まれ

たと思えば良いではないか、朝がくるたび、新しい朝の光の中に、一つの新しい生命体として生まれ出でよ、私。そうして何も出来ない自分として、もう一度挑戦せよ私。朝の眠気の中から今日の新しい私をすくっと起き上がらせよ。

もう一つは、高校生の息子の部屋から流れてくる、槇原敬之君の曲「どんなくもき」の中の言葉。鏡の中の自分を見て、「まだ大丈夫みたいだよ」というフレーズ。その曲は全部好きだけど、特にその言葉が大好き。これから、いざ出勤という時に、鏡に自分を写して、中身はひどく落ち込んでいるけど、外見は、まだ何とか大丈夫、無理してでもニコッと笑えるよ……と元気を出させてくれます。音楽の軽いノリで朝の忙しさを走り抜けます。頭と気持ちは17才の息子並みで、「まだ、大丈夫だよ。」

## ひろば



### 外から内へ

4 F 病棟主任 佐藤 和子

浦戸湾マラソンに参加しようと計画を立てた。家から病院迄往復で約7kmを歩く、少しずつ時間を短縮し、次は距離を伸ばそう等々……。

二日間が終わった。9日の昼、友人の所に行く途中、事故のどばつちりをうけ、歩けなくなって入院した。足には過剰なまでに自信をもっていたので膝に内出血した血液を注射器の中に見た時は「嘘だ!」と信じられないほど不安にかられた。動揺は二、三日続き足音やドアの音にさえ胸がドキドキして食物を吐いたりもした。

夜眠れないままに忘れてしまっていた自分の中の暗にじっと眼をむけていると、思考は止まる事なく死まで続いて行き、ひどく真剣に考えている自分がいた。

不運だったが、この入院で日頃はあまり問いかけない多くの事を自分に問いかける事ができた。疾病の大小にかかわらず、心も同じように病む事を身をもって知った。働いている同僚がうらやましいほど生々とした。見えた。

動けだしたら「疲れた」だの「忙しい」だのと口にすまいと思った。(自信はないのだが)

何よりも外見ばかりに眼をむけていた自分を反省し、時々真面目に内なる自分を見つめようと思う。

先生ありがとうございます。忙しいのにいつも笑顔で接してくれた同僚の皆さんにとっても感謝しています。



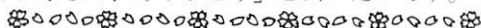
### お母さん ありがとう

看護学生 松浦 晃子

1月15日、県民体育館にて成人式を迎えました。式が終わった後、母の勤め先まで着物姿を見せに行くと、母はあたたかく「成人おめでとう」と言ってくれました。現在寮での生活。親元を離れてとは言っても、自宅は車で5分という近さなのでよく帰るし、あまり変わりはないが、この2年間自分で生活してきて、親の苦勞や大変さをしみじみと実感しました。女手ひとつで私達子供4人をここまで育ててくれて心から感謝しています。今度は私が母に親孝行をす

る番です。あと2ヶ月程で寮を出て自宅に帰るので、少しでも母に楽しませてあげたいです。

今一番、誰かに何かひと云うとしたら、「お母さん、ありがとう」と云いたいです。



### この病院に来て

給食部 栄養士 溝江 和子

今年の1月から岡村病院で働かせていただいておりますが、気がつくと勤務し始めてもう1月近くたってしまいました。

給食では定時に患者さんに食事をだすために時間内に決められた仕事をこなしていかなければいけないので、時計に睨まれながら毎日忙しく仕事をしているためか1日がすごく短く感じます。仕事で疲れる事もありますが、配膳時に病棟へ行って患者さんに会い「ありがとう」「いただきます」と声をかけてもらった時などは、元気がでてきてまた頑張るぞという気持ちになります。

仕事にまだ慣れたとは言えませんし、わたしはいのしし年のせい、ついあわてて先走りをしてしまうこともあり、失敗も多々ありますが、「あわてず、騒がず」を心掛け皆さんに色々教えてもらいながら頑張っていきたいと思っています。



### 看護婦をめざして

看護学生 吉村 弥生

私がこの病院で働きはじめて、もう1年がたとうとしています。振りかえると、この10ヶ月は本当に早くすぎていきました。その反面、まだ1年なのかという気もします。

今まで、仕事のことなど、いたらないことばかりで、周りの方々に迷惑もかけました。自分の欠点にあらためて気づかされたりして、情けなくなり、いやになることもありました。そんな時に励まされたのが、患者さんの笑顔や言葉でした。

看護婦を目指すようになって、前よりもっと人が好きになりました。みんな温かい人ばかりです。

たぶん、これからも何度も失敗をくり返すと思います。でもその分、成長していきたいです。いつか、私が誰かの励ましになれるようなそんな看護婦になりたいです。

## 今月のチャレンジ目標

### 「あいさつの励行」

今月のチャレンジ目標は、もう一度原点にもどって「あいさつの励行」という事になりました。あいさつを忘れず、進んであいさつを交わしましょう。

## ニューフェイスです。ヨ・ロ・シ・ク!!



小島 トメ子さん  
中央材料室助手（パート）  
高知市西秦泉寺



溝江 和子さん  
栄養士  
高知学園短大食物栄養科卒  
高知市薊野



大崎 博美さん  
准看護婦  
県医師会准看護学院卒  
高知市重倉

### 合格おめでとうございます

西村 利恵さん 県立総合看護専門学校へ  
武政 旬香さん 〃 幡多高等看護学院へ

### 〈退職〉ご苦労様でした。

岩貞 雅子さん（調理師）  
岡村 ユリさん（准看護婦）  
上岡 由季さん（ 〃 ）  
畠山 秋美さん（ 〃 ）  
山本 美香さん（ 〃 ）

### 表紙写真説明「雪の梅池高原」

— 西野 哲夫氏 写 —

表紙写真は、以前当病院に入院されていた西野哲夫氏が、この冬、長野県梅池（ツガイケ）高原へスキーに行った時、写して来られたものです。

## 御 礼

先頃は、阪神大震災義援金のお願いに協力をご頂戴して、誠にありがとうございました。1月25日でメ切らせて頂きましたが、皆様からの義援金は153,102円となりました。

早速1月27日、四国銀行を通じて「高知新聞社会福祉事業団」に依託いたしました。

ご協力ありがとうございました。

病院長

### ● 看護婦寮新築工事進む ●

大川筋に新築中の看護婦寮・鉄筋コンクリート5階建（キッチン、バス、トイレ、冷暖房付16室）の工事は順調に進んでおりまして、3月末には完成の見込みです。

### 〇✓ スワン会 会報 ✓〇

今年の役員が下記の通り決まりました。不慣れですが、役員一同頑張りますので、会員各位のご協力を宜しくお願い致します。

会 長	島 崎 巖
副 会 長	森 光 眞佐子
〃	須 藤 福 子
会 計	岡 村 千佳子
監 査	松 本 ひとみ
書 記	西 山 宏 明

### ○ 運 営 委 員

医 局	川 村 誠
薬 局	田 村 麻美子
検 査	松 本 美佐子
物 療	永 野 一 水
外 来	秋 山 明 美
3 F	横 山 真由美
4 F	手 島 亜由美
サニタリー	池 上 美也子
学 生	中 西 史

平成7年2月7日 スワン会 会長

### — 編 集 後 記 —

阪神大震災のニュースには心が痛みます。一日も早く復興し、「禍を転じて福となす」よい年となりますよう祈ります。

院内報「あゆみ」も3年目を迎えました。皆様の一層のご協力をお願い致します。